

4 地域との連携

家庭や地域においても子供が本と出会うきっかけを増やすために、公立図書館においては、司書等の専門的職員による読書活動の推進に向けた様々な取組が行われています。

また、ボランティアによる読み聞かせやお話会などの取組も、子供が本と出会うきっかけづくりに大きな役割を果たしています。

目標

【目標①】ボランティアのスキルアップ・交流のための支援

- ☑ 県が企画するボランティアのスキルアップ・交流の場へ、全市町からの参加を目指します。
- ☑ 県立図書館において開発したプログラム等を提供し、全ての問い合わせに対応します。

現状

- ▼ ボランティアは、地域の乳幼児健診等に参加し、読み聞かせの実演を行うなど、親子で本に触れる体験の大切さを保護者に伝えています。
- ▼ ボランティアは、学校において、朝の読書の時間・昼休憩における読み聞かせや図書室の整備など、子供の読書活動推進のための多様な活動を行っています。



「ボランティアによる乳幼児への読み聞かせ」
(府中市保健福祉センター)

～ 目標を達成するための具体的な取組 ～

➤ ボランティアが交流できる場を提供します！

○ 公立図書館や学校図書館では、乳幼児や児童生徒を対象とした多様なボランティア活動が展開されています。乳幼児期からの読み聞かせの大切さや本の楽しさを、親や子供に直接伝えることができるボランティアの活動の場を増やしていくことは、子供が本に親しむきっかけを増やしていくことにつながります。

また、ボランティア同士が交流し、情報を共有することにより、ボランティア活動がより充実していくことが期待されます。

- ・ ボランティアが活躍できる場が増えるよう市町に働きかけるとともに、ボランティア同士の交流の場を設けます。
- ・ 県立図書館は、市町立図書館が行うボランティアの養成講座の研修内容等について支援を行うとともに、「子供の読書活動ボランティア養成講座」で開発したプログラム等の積極的な提供を行います。



～地域住民が学校図書館・読み語りボランティアとして市内全域で活躍（竹原市）～

竹原市では、平成 21 年度から、子供たちの豊かな読書環境と大いに活用される学校図書館を目指し、「読書の森づくり」事業を展開しています。

その中で、教職員、読み語りボランティア、地域住民が連携し、次のような活動を行っています。

- 学校図書館のレイアウトの見直しや図書の配架など、学校図書館を整備する活動
- ブックコーティング、ラベル貼り替えなど、本を整備する活動
- 児童生徒への定期的な読み語りの活動 等

また、ボランティアの資質向上と他校のボランティアとの連携を深めるために研修会や情報交換会などを実施しています。



学校図書館の整備の様子



読み語りの様子

～ボランティアが学校図書館で活躍、自作絵本で地域のよさを発信（福山市）～

福山市立千年小学校のボランティア

- ・読み聞かせ
週 1 回学級ごと、月 1 回学年ごと、年 2 回全校対象の読み聞かせをしています。
- ・環境整備
おすすめ本コーナーや季節の展示など美しい環境を整えています。
- ・ブックトーク
夏休みや冬休み前に、楽しいテーマでブックトークをすることで、児童が長い休みの間に読みたい本を選ぶことにつながっています。
- ・団体貸出
地域の公立図書館と連携して、学校が希望する本を団体貸出する際の協力をしています。



地域の「図書ボランティア」

「ぼらのまち福山」の由来や歴史を子供たちに伝える絵本を市民協働で作り、市内の学校等や東日本大震災の被災地などへ寄贈しているボランティア団体もあります。この絵本は、学校などでも活用され、地域・学校・家庭のパイプ役にもなっています。

「ゆうちゃんとまほうのぼら～ぼらのまち福山」

(てしろうみんかん子ども文庫)